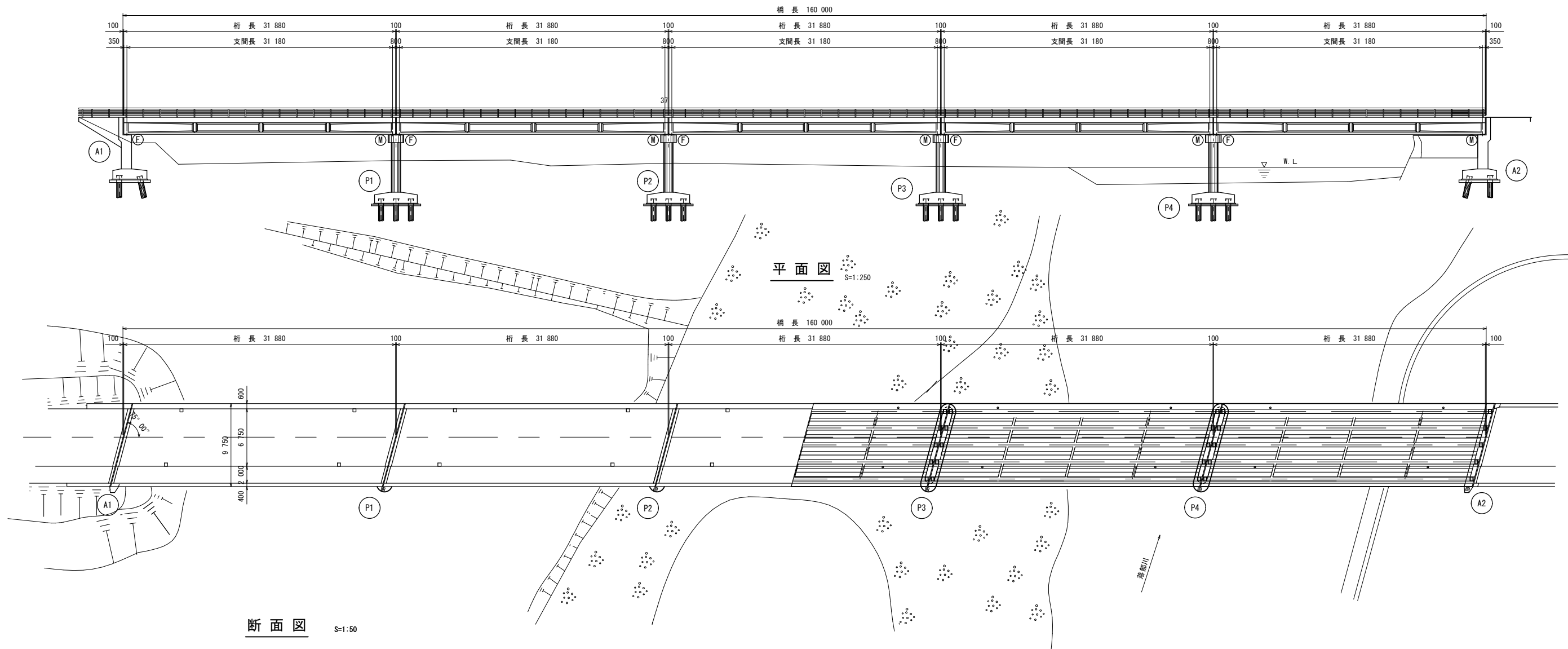


橋梁一般図
〔川向橋〕

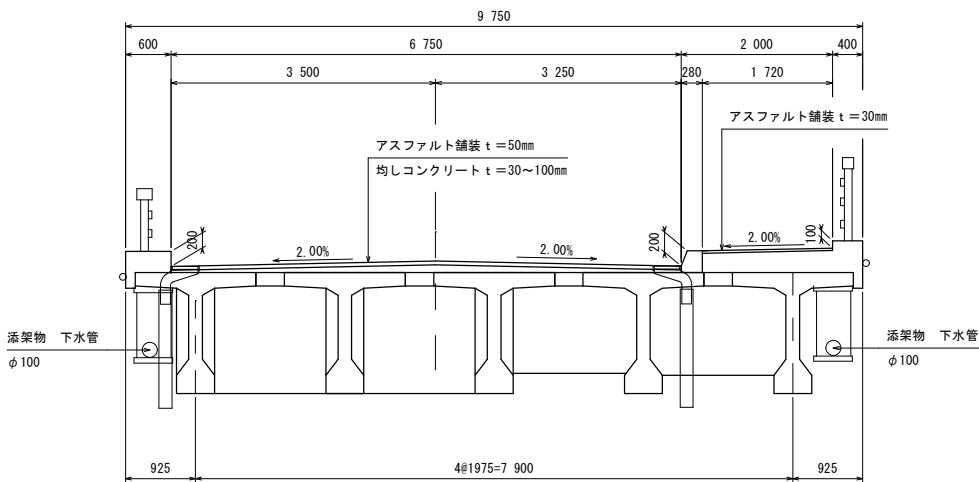
側面図

S=1:250



断面図

S=1:50



橋 梁 諸 元	
橋 名	川向橋
路 線 種 別	川向3号線
所 在 地	二海郡八雲町落部12001
架 設 年 度	1980年10月（昭和53年）
交 差 河 川	落部川
橋 長	160.000m
支 間 長	5@31.180m
幅 員	全幅員=9.75m 車道=6.75m
斜 角	$\theta = 75^{\circ} 00'$
上 部 工 形 式	PC橋 ポステンT桁
下 部 工 形 式	逆T式橋台 壁式橋脚（RC）
基 礎 構 造 形 式	鋼管杭基礎
設 計 荷 重	TL-20（S31）
示 方 書	昭和53年道路橋示方書

注意事項

- ・本図面は既往資料及び現地簡易計測により計画している。詳細寸法は現地検測により確認する必要がある。
- ・補修範囲等は現地の損傷状況を再確認する必要がある。

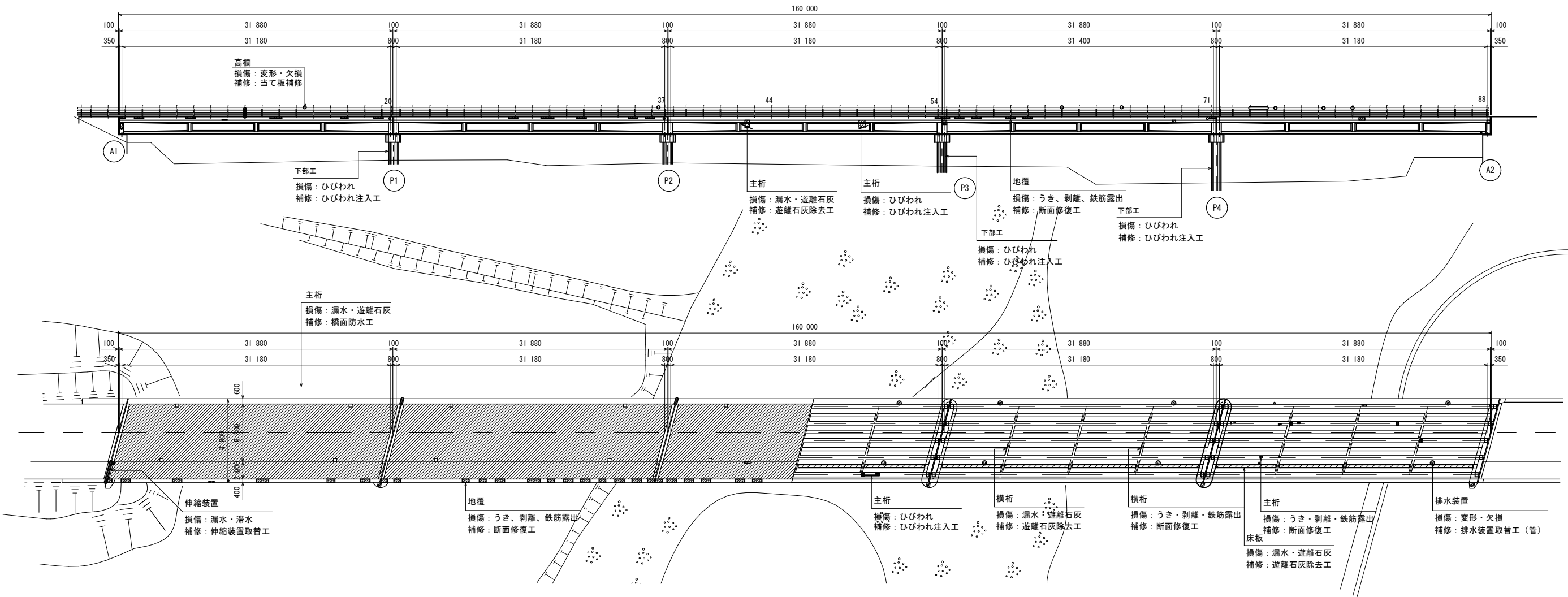
川向橋			
工事名	八雲町橋梁補修設計業務		
図面名	橋梁一般図		
作成年月日	令和4年 月 日		
縮 尺	図 示	図面番号	
会社名	株式会社 アリヤス設計コンサルタント		
事業者名	八 雲 町		

橋梁補修一般図

〔川向橋〕

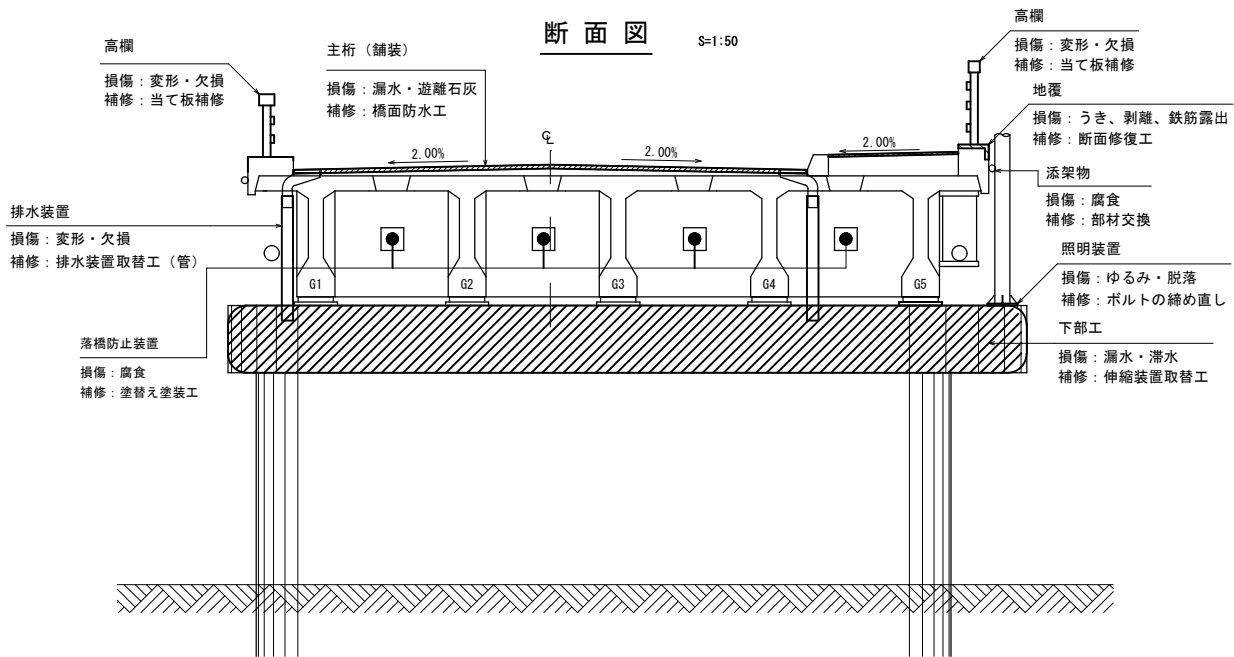
側面図

S=1:250



断面図

S=1:50



調査結果一覧

対象部位（部材）		今回詳細調査結果			補修要否	補修設計方針（案）
		損傷度判定区分		健全診断		
上部工	主桁	うき・剥離・鉄筋露出	d	Ⅱ	要	断面修復工
		ひび割れ	d	Ⅲ	要	ひび割れ注入工
		漏水・遊離石灰	d	Ⅱ	要	橋面防水工
	横桁	うき・剥離・鉄筋露出	c	Ⅱ	要	断面修復工
		漏水・遊離石灰	d	Ⅱ	要	遊離石灰除去工
	床版	うき・剥離・鉄筋露出	d	Ⅱ	要	断面修復工
		漏水・遊離石灰	d	Ⅰ	要	遊離石灰除去工
下部構造		ひび割れ	c	Ⅱ	要	ひび割れ注入工
		－	－	－	－	－
支承部		変色・劣化	c	Ⅰ	否	経過観察
		－	－	－	－	－
その他	伸縮装置	漏水・滞水	d	Ⅲ	要	伸縮装置取替工
	高欄・防護欄	変形・欠損	d	Ⅲ	要	当て板補修
		－	－	－	否	－
	地覆	うき・剥離・鉄筋露出	d	Ⅲ	要	断面修復工
	排水装置	変形・欠損	d	Ⅱ	要	排水装置部材取替工
		－	－	－	－	－
	舗装	舗装の異常（ポットホール）	b	Ⅰ	否	舗装打換え工
	縁石	変形・欠損	b	Ⅰ	否	経過観察
	添架物	腐食	d	Ⅰ	要	部材交換
	落橋防止装置	腐食	c	Ⅱ	要	塗替え塗装工
	照明装置	ゆるみ・脱落	d	Ⅱ	要	ボルトの締め直し

注意事項

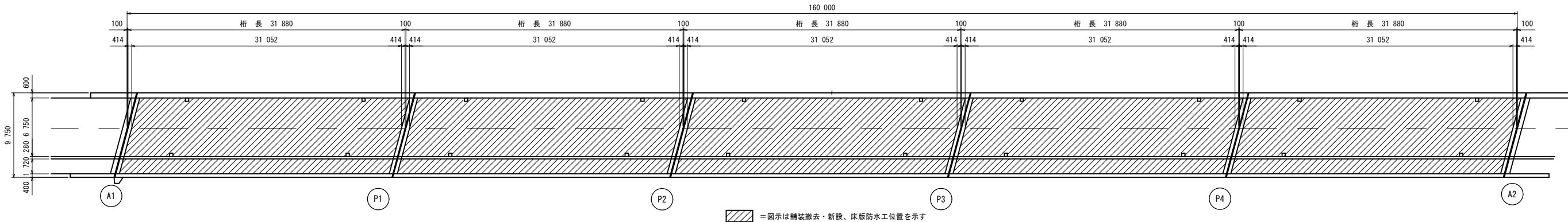
- ・本図面は既往資料及び現地簡易計測により計画している。詳細寸法は現地検測により確認する必要がある。
- ・補修範囲等は現地の損傷状況を再確認する必要がある。

川向橋			
工事名	八雲町橋梁補修設計業務		
図面名	橋梁補修一般図		
作成年月日	令和 4 年 月 日		
縮 尺	図 示	図面番号	
会社名	株式会社 アリヤス設計コンサルタント		
事業者名	八 雲 町		

床版防水工図

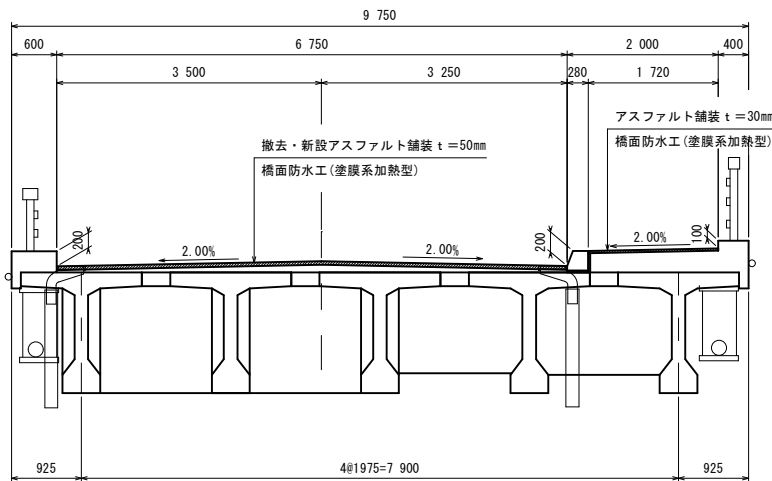
施工位置平面図

S=1:250



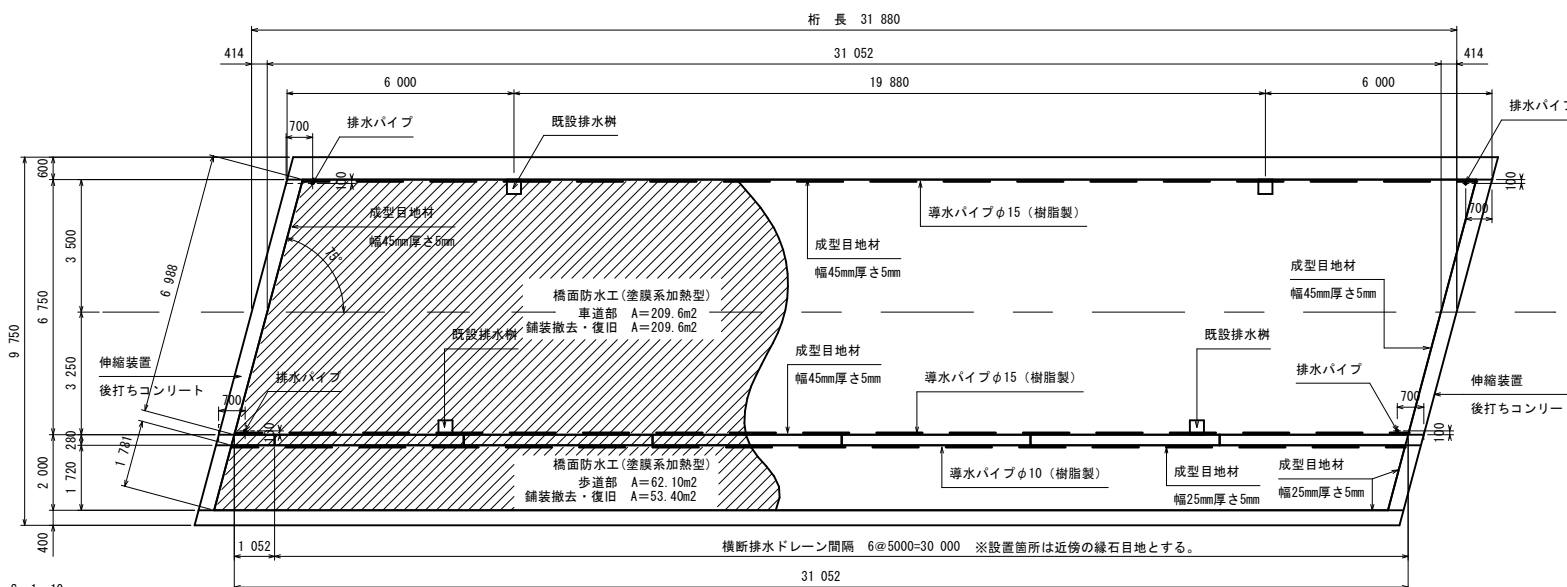
断面図

S=1:50



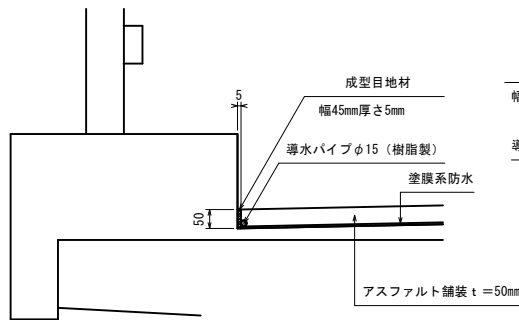
床版防水工平面詳細図

S=1:100



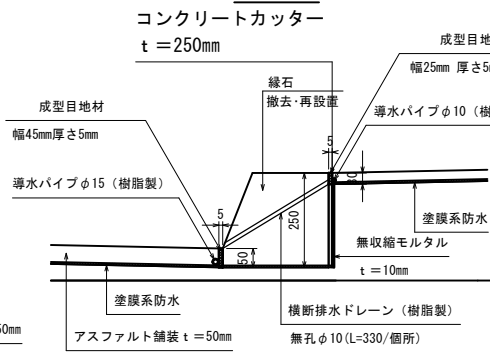
車道地覆部

S=1:10



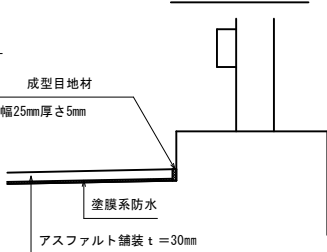
縁石部

S=1:10



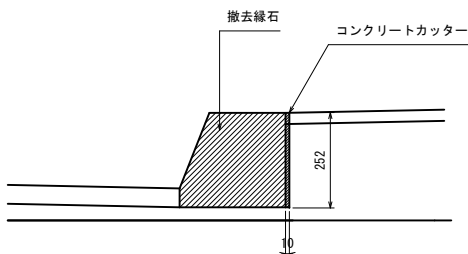
歩道地覆部

S=1:10



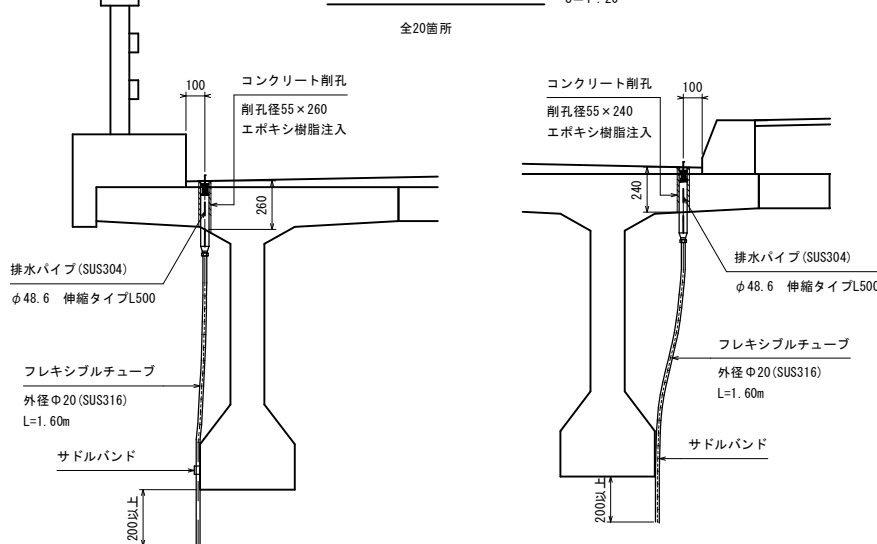
縁石撤去図

S=1:10

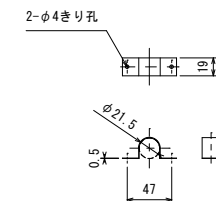


排水管取付詳細図

S=1:20



サドルバンド: 16A(φ21.7)用 (SUS430, ビス付き)



注意事項

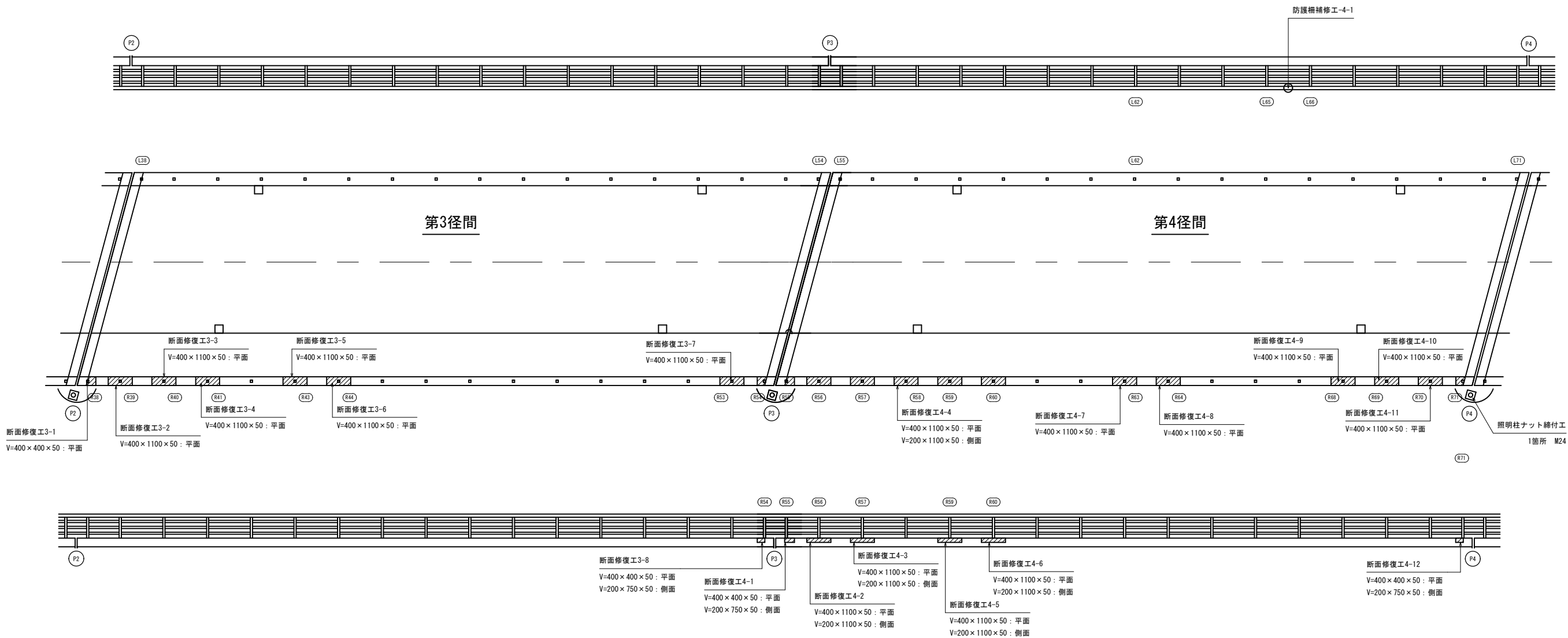
- ・本図面は既往資料及び現地簡易計測により計画している。詳細寸法は現地検測により確認する必要がある。
- ・補修範囲等は現地の損傷状況を再確認する必要がある。

川向橋

工事名	八雲町橋梁補修設計業務		
図面名	床版防水工図		
作成年月	令和 4 年	月	日
縮 尺	図 示	図面番号	
会社名	株式会社 アリヤス設計コンサルタント		
事業者名	八 雲 町		

地覆・防護柵補修図（2）

3. 4径間

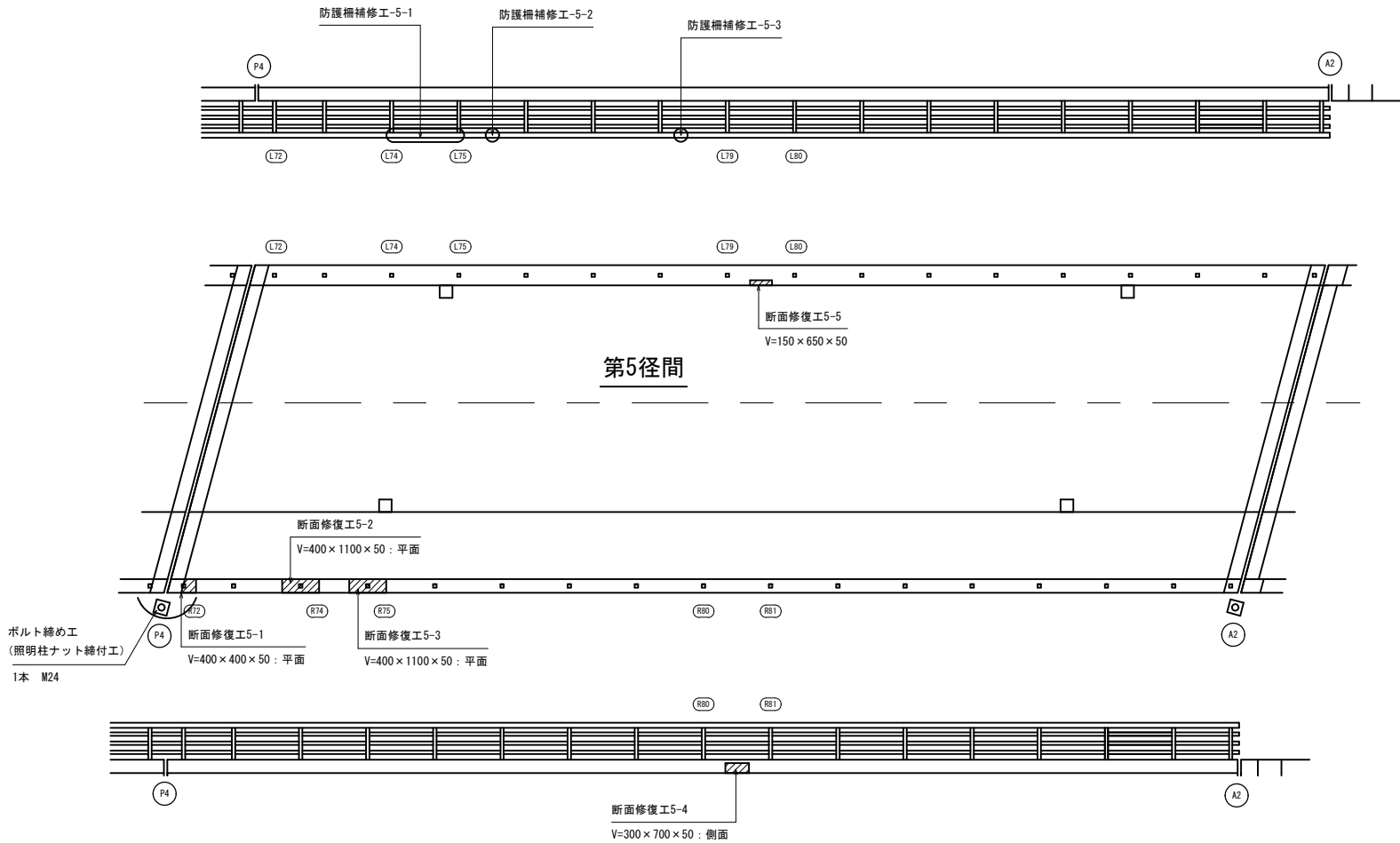


注意事項

- ・本図面は既往資料及び現地簡易計測により計画している。詳細寸法は現地検測により確認する必要がある。
- ・補修範囲等は現地の損傷状況を再確認する必要がある。

川向橋			
工事名	八雲町橋梁補修設計業務		
図面名	地覆・防護柵補修図（2）		
作成年月日	令和 4年 月 日		
縮 尺	図 示	図面番号	
会社名	株式会社 アリヤス設計コンサルタント		
事業者名	八 雲 町		

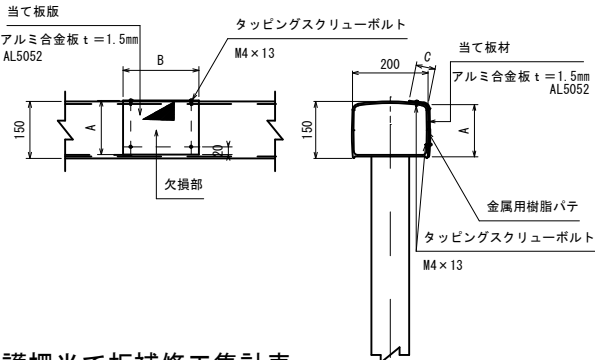
地覆・防護柵補修図（3）



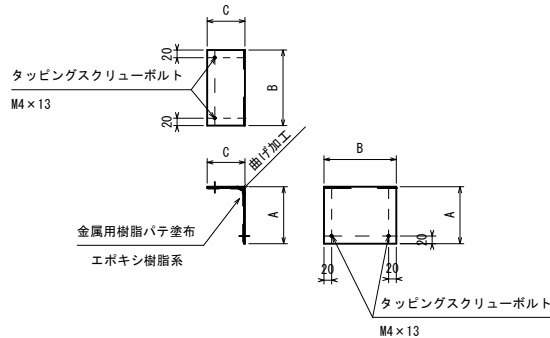
防護柵当て板工詳細図

S=1：10

取付標準図



当て板材アルミ合金板 t = 1.5mm



防護柵当て板補修工集計表

部位	記号	形状 (mm)				面積 m ²	ボルト M4×13	形状別 t=1.5mm AL5052
		A+C	×	B	=			
防護柵 当て板工	1-1	0.250	×	0.300	=	0.075	4	0.250×0.300 1枚
	2-1	0.200	×	0.200	=	0.040	4	0.150×0.150 4枚
	4-1	0.150	×	0.150	=	0.023	4	0.200×0.200 2枚
	5-1	0.150	×	0.150	=	0.023	4	0.200×0.250 1枚
		0.150	×	0.150	=	0.023	4	
		0.150	×	0.150	=	0.023	4	
	5-2	0.200	×	0.200	=	0.040	4	
	5-3	0.250	×	0.200	=	0.050	4	
合計＝						0.295	32	

ボルト締め工（照明柱ナット締付工）

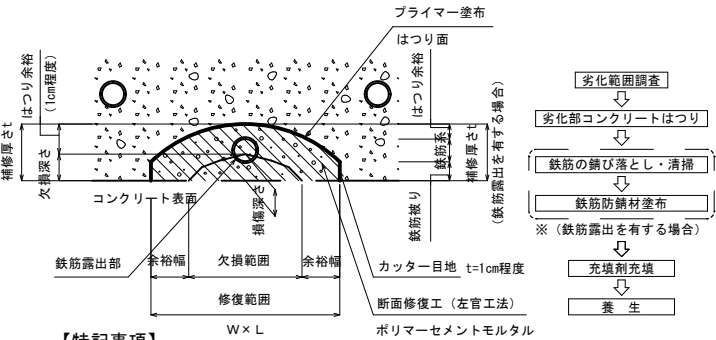
P4橋脚 1本 M24ナット

断面修復工集計表

部位	記号	形状 (mm)				面積		体積		備考	
		縦	×	横	×	深さ	m ²	m ³			
地覆 1径間	1-1	0.400	×	0.400	×	0.050	0.160	0.0080			
		0.200	×	0.700	×	0.050	0.140	0.0070			
	1-2	0.400	×	1.100	×	0.050	0.440	0.0220			
		0.200	×	1.100	×	0.050	0.220	0.0110			
	1-3	0.400	×	1.100	×	0.050	0.440	0.0220			
		0.200	×	1.100	×	0.050	0.220	0.0110			
	1-4	0.100	×	0.600	×	0.050	0.060	0.0030		鉄筋露出あり	
	1-5	0.400	×	1.400	×	0.050	0.560	0.0280			
		0.200	×	1.400	×	0.050	0.280	0.0140			
	1-6	0.400	×	0.900	×	0.050	0.360	0.0180			
		0.200	×	0.900	×	0.050	0.180	0.0090			
	1-7	0.400	×	1.100	×	0.050	0.440	0.0220			
		0.200	×	1.100	×	0.050	0.220	0.0110			
	地覆 2径間	2-1	0.400	×	0.400	×	0.050	0.160	0.0080		
2-2		0.400	×	0.800	×	0.050	0.320	0.0160			
2-3		0.400	×	0.800	×	0.050	0.320	0.0160			
2-4		0.400	×	0.800	×	0.050	0.320	0.0160			
2-5		0.400	×	1.100	×	0.050	0.440	0.0220			
		0.200	×	1.100	×	0.050	0.220	0.0110			
2-6		0.400	×	1.500	×	0.050	0.600	0.0300			
		0.200	×	1.500	×	0.050	0.300	0.0150			
2-7		0.400	×	0.800	×	0.050	0.320	0.0160			
2-8		0.400	×	1.100	×	0.050	0.440	0.0220			
		0.200	×	1.100	×	0.050	0.220	0.0110			
2-9		0.400	×	1.100	×	0.050	0.440	0.0220			
2-10		0.400	×	0.800	×	0.050	0.320	0.0160			
2-11		0.400	×	1.100	×	0.050	0.440	0.0220			
	0.200	×	1.100	×	0.050	0.220	0.0110				
2-12	0.400	×	1.100	×	0.050	0.440	0.0220				
地覆 3径間	2-13	0.400	×	0.400	×	0.050	0.160	0.0080			
	3-1	0.400	×	0.400	×	0.050	0.160	0.0080			
	3-2	0.400	×	1.100	×	0.050	0.440	0.0220			
	3-3	0.400	×	1.100	×	0.050	0.440	0.0220			
	3-4	0.400	×	1.100	×	0.050	0.440	0.0220			
	3-5	0.400	×	1.100	×	0.050	0.440	0.0220			
	3-6	0.400	×	1.100	×	0.050	0.440	0.0220			
	3-7	0.400	×	1.100	×	0.050	0.440	0.0220			
	3-8	0.400	×	0.400	×	0.050	0.160	0.0080			
		0.200	×	0.750	×	0.050	0.150	0.0075			
	地覆 4径間	4-1	0.400	×	0.400	×	0.050	0.160	0.0080		
		4-2	0.200	×	0.750	×	0.050	0.150	0.0075		
			0.400	×	1.100	×	0.050	0.440	0.0220		
		4-3	0.200	×	1.100	×	0.050	0.220	0.0110		
0.200			×	1.100	×	0.050	0.220	0.0110			
4-4		0.400	×	1.100	×	0.050	0.440	0.0220			
		0.200	×	1.100	×	0.050	0.220	0.0110			
4-5		0.400	×	1.100	×	0.050	0.440	0.0220			
		0.200	×	1.100	×	0.050	0.220	0.0110			
4-6		0.400	×	1.100	×	0.050	0.440	0.0220			
		0.200	×	1.100	×	0.050	0.220	0.0110			
4-7		0.400	×	1.100	×	0.050	0.440	0.0220			
4-8		0.400	×	1.100	×	0.050	0.440	0.0220			
4-9		0.400	×	1.100	×	0.050	0.440	0.0220			
地覆 5径間	4-10	0.400	×	1.100	×	0.050	0.440	0.0220			
	4-11	0.400	×	1.100	×	0.050	0.440	0.0220			
	4-12	0.400	×	0.400	×	0.050	0.160	0.0080			
		0.200	×	0.750	×	0.050	0.150	0.0075		鉄筋露出あり	
5-1	0.400	×	0.400	×	0.050	0.160	0.0080				
5-2	0.400	×	1.100	×	0.050	0.440	0.0220				
5-3	0.400	×	1.100	×	0.050	0.440	0.0220				
5-4	0.300	×	0.700	×	0.050	0.210	0.0105				
5-5	0.150	×	0.650	×	0.050	0.098	0.0049				
合計＝						19.978	0.999				

断面修復工詳細図

左官工法（ポリマーセメントモルタル）



【特記事項】

- 図中記載の寸法は現地計測結果によるものであるが、各形状寸法を確認の上施工すること。
- 露出鉄筋の錆落としは、ワイヤーブラシまたはディスクサンダー等によるものとし、浮き錆を完全に除去すること。また、防錆剤の付着性を確保するため、錆落とし後十分に清掃を行うこと。
- 既設コンクリートの脆弱部は深さに関わらず除去するものとし、はつり深さが著しく大きくなることが予想される場合には、事前に監督員と協議を行うこと。
- 破碎したコンクリート殻を落下、飛散させないように適宜防護するとともに、適正に処理すること。
- 施工時の外気温が5℃を下回る場合には、適宜、防護養生をおこなうこと。

注意事項

- 本図面は既往資料及び現地簡易計測により計画している。詳細寸法は現地検測により確認する必要がある。
- 補修範囲等は現地の損傷状況を再確認する必要がある。

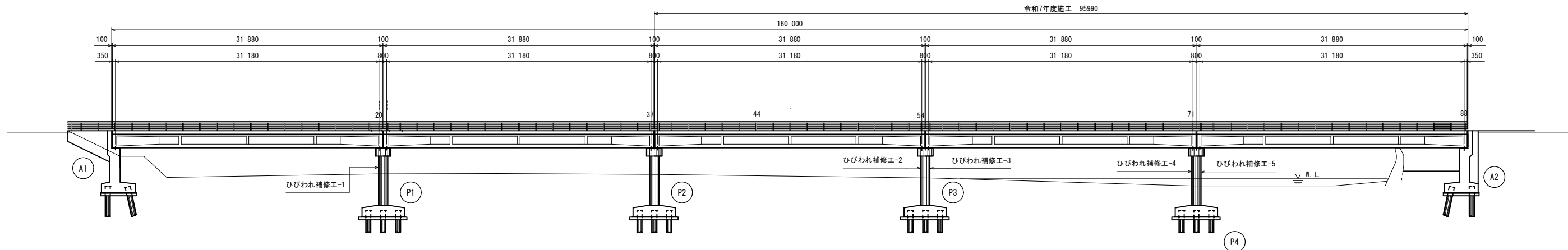
川向橋			
工事名	八雲町橋梁補修設計業務		
図面名	地覆・防護柵補修図（3）		
作成年月日	令和 4年 月 日		
縮 尺	図 示	図面番号	
会社名	株式会社 アリヤス設計コンサルタント		
事業者名	八 雲 町		

下部工 補修図

ひびわれ補修工

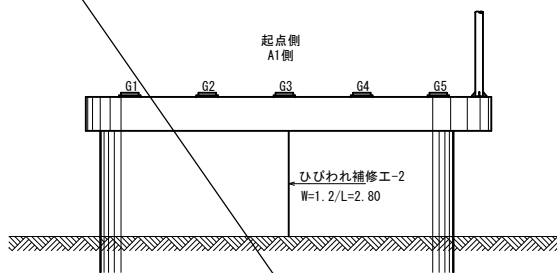
補修位置側面図

S=1:250

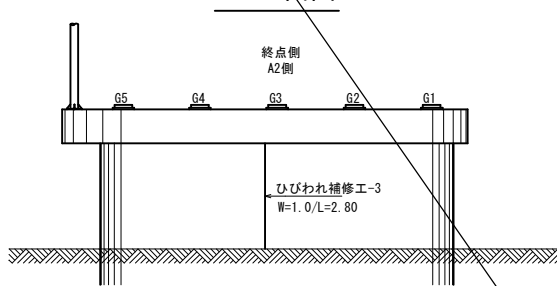


P-3正面図

S=1:50

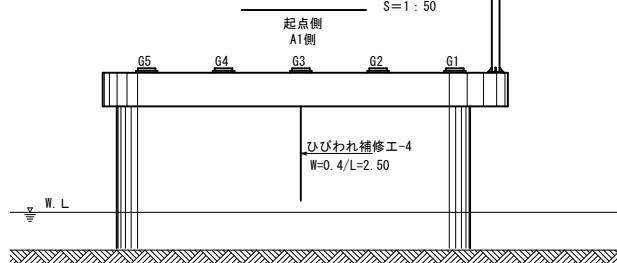


P-3正面図

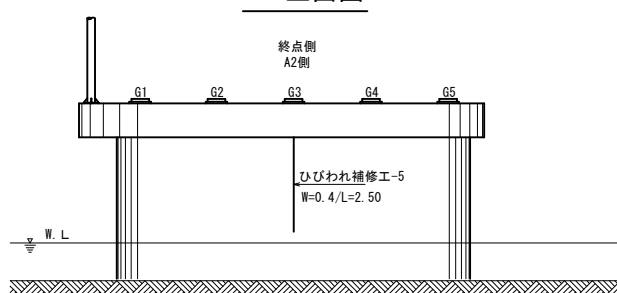


P-4正面図

S=1:50



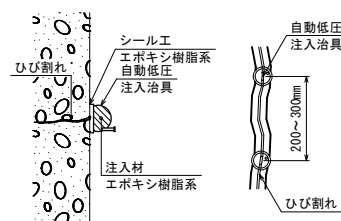
P-4正面図



ひび割れ補修工詳細図

自動低圧注入工法

補修対象ひび割れ幅 0.35mm以上



施工手順

- 事前調査
- 清掃
- 注入治具貼付
- シーリング
- 注入材を注入
- 注入治具撤去
- シーリング撤去
- 清掃・片付け

注記

- 補修工事においては、事前に現地実測を行い再度補修規模を確認のこと。
- ひび割れ注入材はエポキシ樹脂系とする。
- ひび割れ周囲の遊離石灰は除去すること。

ひびわれ修復工数量集計表

位置	記号	延長 m	幅 mm
P-1	1	2.200	0.4
	2	2.800	1.2
P-3	3	2.800	1.0
	4	2.500	0.4
P-4	5	2.500	0.4

総延長 = 12.800m

注意事項

- 本図面は既往資料及び現地簡易計測により計画している。詳細寸法は現地検測により確認する必要がある。
- 補修範囲等は現地の損傷状況を再確認する必要がある。

川向橋

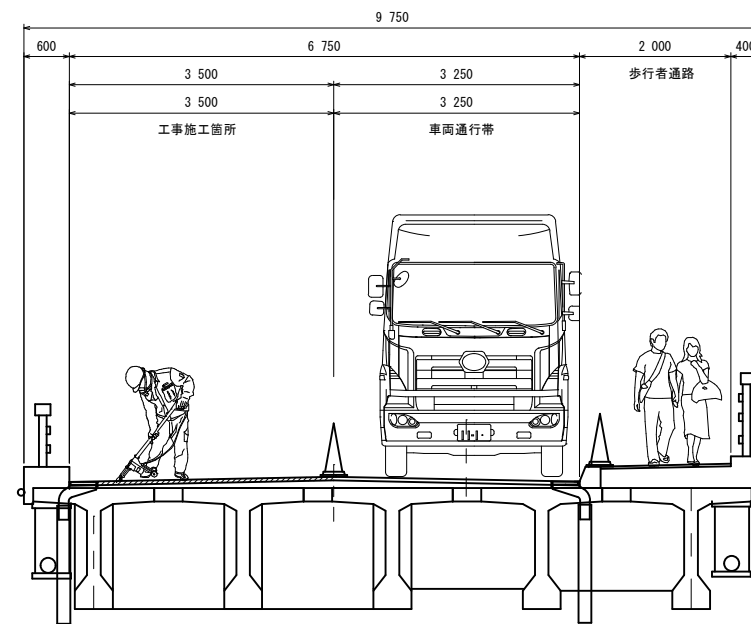
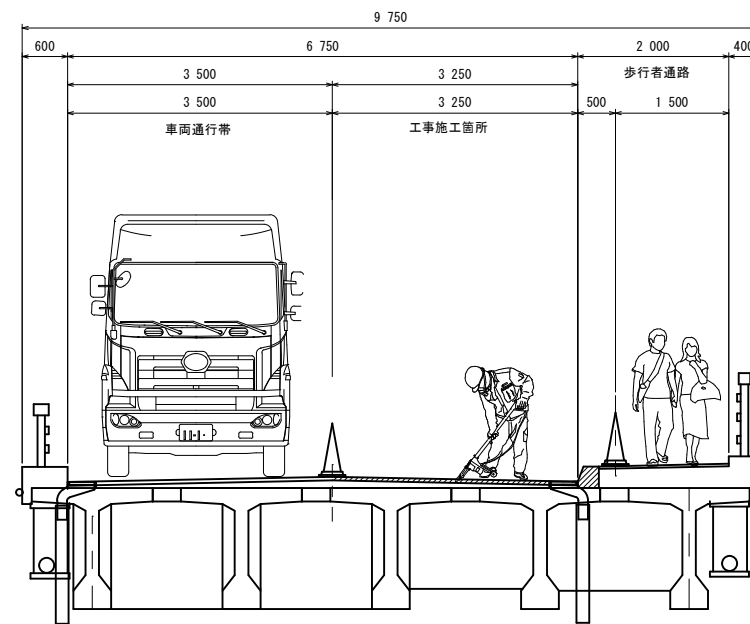
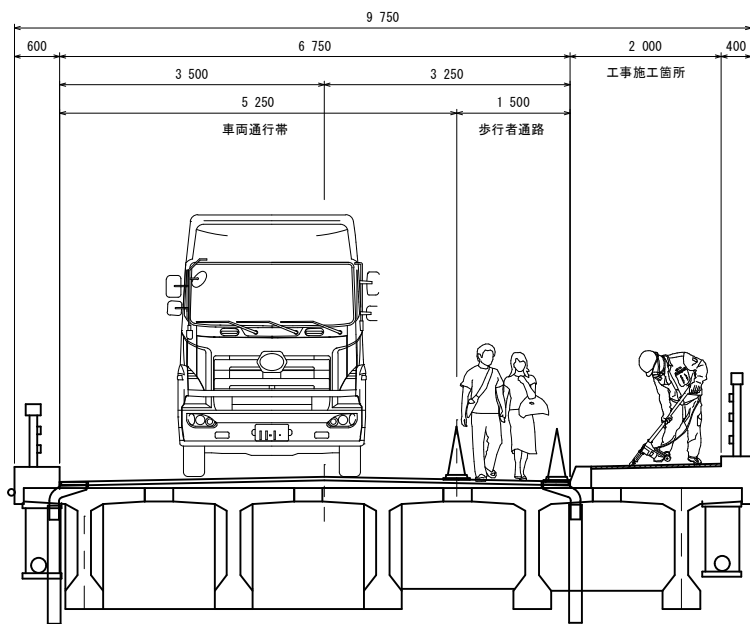
工事名	八雲町橋梁補修設計業務		
図面名	下部工 補修図		
作成年月日	令和 4年 月 日		
縮 尺	図 示	図面番号	
会社名	株式会社 アリヤス設計コンサルタント		
事業者名	八 雲 町		

歩道側施工規制 平面図

右側車道施工規制 平面図

Figure 1 consists of three cross-section diagrams of a road construction regulation. The top diagram shows the overall layout with a total width of 160,000 units. The bottom diagram shows the detailed construction regulation for the pedestrian side, right lane, and left lane. The diagrams are labeled with A1, P1, P2, P3, P4, and A2. The scale is 1:250.

S=1:50



川向橋			
工事名	八雲町橋梁補修設計業務		
図面名	交通規制図		
作成年月日	令和 4 年 月 日		
縮 尺	図 示	図面番号	
会社名	株式会社 アリヤス設計コンサルタント		
事業者名	八 雲 町		